【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公開番号】特開2003-5159(P2003-5159A)
【公開日】平成15年1月8日(2003.1.8)
【出願番号】特願2001-183440(P2001-183440)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｆ　1/1333　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　7/02　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　7/04　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　1/04　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/30　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/35　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　81/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｆ　1/1333　５００
Ｂ３２Ｂ　7/02
Ｃ０８Ｊ　7/04　ＣＦＤＰ
Ｇ０２Ｂ　1/04
Ｇ０９Ｆ　9/30　３１０
Ｇ０９Ｆ　9/35
Ｃ０８Ｌ　81:06

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月26日(2007.3.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　プラスチックフィルムシートの一方の面に、水蒸気透過度が０．１ｇ／m^2／ｄａｙ以下となる単独層または複合層を有し、かつ、他方の面に水蒸気透過度が０．１ｇ／m^2／ｄａｙ以上１０ｇ／m^2／ｄａｙ以下となる単独層または複合層を有する光学用フィルムシート。
【請求項２】　前記プラスチックフィルムシートの位相差が２０ｎｍ以下である請求項１記載の光学用フィルムシート。
【請求項３】　前記プラスチックフィルムシートの波長５５０ｎｍにおける光線透過率が８０％以上である請求項１または２記載の光学用フィルムシート。
【請求項４】　前記プラスチックフィルムシートの光弾性定数が$10\times10^{-13}$$cm^2$／ｄｙｎ以上である請求項１～３何れか一項記載の光学用フィルムシート。
【請求項５】　前記プラスチックフィルムシートが（１）エステル結合で結合された繰り返し単位を有する高分子、（２）カーボネート結合で結合された繰り返し単位を有する高分子または（３）スルホン結合で結合された繰り返し単位を有する高分子を主成分とする請求項１～４何れか一項記載の光学用フィルムシート。
【請求項６】　前記プラスチックフィルムシートがポリエーテルスルホンを主成分とする請求項５記載の光学用フィルムシート。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
すなわち本発明は、
（１）　プラスチックフィルムシートの一方の面に、水蒸気透過度が０．１ｇ／m^2／ｄａｙ以下となる単独層または複合層を有し、かつ、他方の面に水蒸気透過度が０．１ｇ／m^2／ｄａｙ以上１０ｇ／m^2／ｄａｙ以下となる単独層または複合層を有する光学用フィルムシート。
（２）　前記プラスチックフィルムシートの位相差が２０ｎｍ以下である（１）の光学用フィルムシート。
（３）　前記プラスチックフィルムシートの波長５５０ｎｍにおける光線透過率が８０％以上である（１）または（２）の光学用フィルムシート。
（４）　前記プラスチックフィルムシートの光弾性定数が１０×１$０^{-13}$ｃm^2／ｄｙｎ以上である（１）～（３）の光学用フィルムシート。
（５）　前記プラスチックフィルムシートが、（１）エステル結合で結合された繰り返し単位を有する高分子、（２）カーボネート結合で結合された繰り返し単位を有する高分子または、（３）又は（４）スルホン結合で結合された繰り返し単位を有する高分子を主成分とする（１）～（４）の光学用フィルムシート。
（６）　前記プラスチックフィルムシートがポリエーテルスルホンを主成分とする（５）の光学用フィルムシート。
である。